

令和6年度 年間授業計画

教科名	国語	科目名	総合国語	単位数	2
対象学年・組	3学年全クラス				
使用教科書	「文学国語セレクション」東京書籍				
使用教材	「プライム常用国語」第一学習社、「最新国語便覧」浜島書店				

教科の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学期	単元 小説「ナイン」 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く小説の設定や時代背景を把握し、登場人物の人間関係とその心情を読み取る。	・ストーリーの概略を把握する。 ・作品の舞台設定を理解する。 ・人物の気持ちを読みとる。			【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く小説の設定や時代背景を把握し、登場人物の人間関係とその心情を読み取るようにしている。				14
	定期考査								1
	単元 評論「演技する私」 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く筆者の主張を読み取り、小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめようとしている。	・本文で取り上げられている作品と作者について確認する。 ・筆者の提案する発想の転換について理解する。 ・筆者の主張を読みとる。 ・これまでに読んだ「語り手が『私』で作者その人を連想させる」小説について改めて「『私』」と「作者その人」の関係を考え、文章にまとめよう。			【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く筆者の主張を読み取り、小説における作者と小説内の「私」との関係について理解し、考えをまとめようとしている。				13
定期考査								1	
2 学期	単元 小説「山月記」 【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使おうとする。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く登場人物の心情を把握し、主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合う。	・作者について知る。 ・難語句や重要な漢字の意味、用法を確認する。 ・人物の行動、状況、心理をとらえる。 ・主人公の生き方について理解を深め、話し合う。			【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く登場人物の心情を把握し、主人公の内面と苦悩を理解して、その生き方について考え、話し合うようにしている。				14
	定期考査								1
	単元 小説「ころ」 【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈する。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のあり方について考えを深め、自分の考えを話し合う。	・近代文学における漱石の位置づけについて確認する。 ・テキスト収録部分に至るまでのあらすじを確認する。 ・人物の行動、状況、心理をとらえる。 ・「私」の行為や心理についてどのように考えるか、話し合う。			【知識及び技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 ・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く登場人物の関係性と心情を描写から把握し、今までの学習を生かして人の心のあり方について考えを深め、自分の考えを話し合うようにしている。				16
定期考査								1	
3 学期	単元 詩歌「硝子の箱－短歌抄」 【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く短歌独自の特色と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まとめようとしている。	・短歌の歴史、伝統、形式を確認する。 ・それぞれの作品を鑑賞し、情景や季節観、世界観を読みとる。 ・印象に残った短歌について内容を理解し、ひかれた理由についてまとめよう。			【知識及び技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く短歌独自の特色と表現効果を理解し、学習課題に沿って印象に残った歌について、ひかれた理由を考え、まとめようとしている。				8
	学年末考査								1

令和6年度 年間授業計画

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	単位数	2
対象学年・組	3年全クラス				
使用教科書	歴史総合 近代から現代へ				
使用教材	なし				

教科の目標

【知識及び技能】	知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目の目標

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	【思考力、判断力、表現力等】	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【主体的に学習に取り組む態度】	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
----------	---	----------------	---	-----------------	---

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価規準				配当 時数
			知	思	態		
1 学期 中間	ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出 【知識及び技能】 ・15～16世紀にかけてのヨーロッパ人による航海と探検についてまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ヨーロッパ人の海外進出によってアメリカ大陸とアフリカ大陸にもたらされた影響を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「大航海時代」の結果として進んだ「世界の一体化」と現代の「世界の一体化」＝グローバル化の共通点と相違点を見出そうとしている。	①ヨーロッパで成立した主権国家と主権国家体制について、その特徴を理解する。 ②中世に支配的であったカトリック教会の改革の動きである宗教改革の考え方や影響について考察する。 ③ヨーロッパ人の海外進出について理解し、その影響について考察する。	【知識及び技能】 ・ヨーロッパで成立した主権国家体制と、イギリスやフランスなど各国の国家の特徴について理解している。 ・15～16世紀にかけてのヨーロッパ人による航海と探検についてまとめている。 【思考力・判断力・表現力】 ・宗教改革とヨーロッパ人の海外進出、および宗教改革と科学革命の結びつきについて考察しているか。 ・ヨーロッパ人の海外進出によってアメリカ大陸とアフリカ大陸にもたらされた影響を考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「大航海時代」の結果として進んだ「世界の一体化」と現代の「世界の一体化」＝グローバル化の共通点と相違点を見出そうとしているか。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		8
1 学期 期末	ヨーロッパ経済の動向と産業革命 【知識及び技能】 ・大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・産業革命を単に技術革新としてとらえるのではなく、国内外にもたらしたさまざまな変化を注視しようとしている。	①産業革命にいたるヨーロッパ経済の大きな流れを理解する。 ②産業革命によるヨーロッパ各国内の変化や、世界的な影響について考察する。	【知識及び技能】 ・大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解しているか。 ・大西洋三角貿易を展開したイギリスが技術革新へと向かったことを理解しているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・産業革命を単に技術革新としてとらえるのではなく、国内外にもたらしたさまざまな変化を注視しようとしているか。 ・産業革命による人々の生活の変化を追究しようとしているか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学期 中間	アメリカ独立革命とフランス革命 【知識及び技能】 ・アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アメリカ独立革命がその後の世界にあたえた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アメリカ独立革命とフランス革命によってうみ出された理念や価値観を比較しながら、ヨーロッパの歴史や文化について考察している。	①七年戦争の勝利後におけるイギリスの北アメリカ植民地の拡大と変遷を理解する。 ②アメリカ独立革命とその理念を理解し、その後の世界にあたえた影響を考察する。 ③フランス革命の経過と革命の成果を理解し、その後の世界にあたえた影響を考察する。 ④ナポレオン戦争の経過と、ヨーロッパにおける変化を理解する。	【知識及び技能】 ・ナポレオン戦争によるヨーロッパにおける変化を理解しているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・フランス革命がその後の世界にあたえた影響を多面的・多角的に考察し、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・二つの革命の歴史的意義を見出そうとしているか。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学期 期末	帝国主義と列強の展開 【知識及び技能】 ・帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現している。 第一次世界大戦とロシア革命 【知識及び技能】 ・第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・バルカン半島の地理的・民族的・宗教的な複雑さをともに、バルカン半島の対立が第一次世界大戦の開戦に影響をあたえたことを多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ロシア革命とソ連の成立の歴史的意義を追究しようとしている。	①第2次産業革命の概要を年表にまとめ、それがどのように世界を変化させていったのかを理解する。 ②帝国主義とは、どのような状況で、どのようにして生まれたのか、その後の世界にどのような影響を与えたかを理解する。	【知識及び技能】 ・帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・帝国主義の時代が、世界の一体化を進めたことについて、過程・結果、そしてその後の現代にいたる影響について深く、追究しようとしているか。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学期	経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 ・世界恐慌の発生原因・過程・結果について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界恐慌に対して、各国の対応策を比較し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ドイツの拡張政策に対して、ヨーロッパ諸国はどのように対応していったのかを追究しようとしている。	①ファシズム体制の特徴をまとめ、国内外への影響を理解する。 ②ヒトラーとナチ党がドイツで政権を獲得し、独裁体制を確立した経緯とその結果について考察する。 ③1930年代のヨーロッパにおけるファシズムと反ファシズムの共通点と相違点を考察する。 ④ドイツの拡張主義的対外政策と他国の反応から、第二次世界大戦発生の原因を理解する。	【知識及び技能】 ・第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかをまとめているか。 【思考力・判断力・表現力】 ・日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を軸にして、多角的に表現しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・第二次世界大戦の終結にいたる連合国側の会議について時系列にその内容を追究しようとしているか。	○	○	○	9
	学年末考査						1

令和6年度 年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	単位数	2
対象学年・組	3年A、B、C、E組				
使用教科書	新 高校の数学Ⅱ（数研出版）				
使用教材	ポイントノート数学Ⅱ（数研出版）				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、産物や商の同値性に着目し、等式や不等式を成り立たせるための論理的に考察する力、関数関係に着目し、事象を数学的に表現し、その特徴を数学的に考察する力、関数の同所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 中間	第4章 指数関数と対数関数 【知識及び技能】 ・指数が正の整数の場合から指数法則を学び直し、指数を正の整数から有理数へ拡張しても指数法則が成り立つことを見通し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・指数を有理数まで拡張しても指数法則が成り立つように累乗を定義することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・累乗根の性質を平方根の学習から関連づけて考えることができる。	指数の拡張 累乗根 指数の拡張 指数関数のグラフ	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	5
				○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
1 学期 期末	第4章 指数関数と対数関数 【知識及び技能】 ・指数と対数を相互に関連づけて考察することができる。指数や対数の計算をすることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・指数関数及び対数関数の式とグラフを比較し、多面的・多角的に見ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対数の性質や対数関数の底の変換を構造化し、対数の計算などができる。	対数 対数の性質 対数関数のグラフ	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	8
				○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学期 中間	第5章 微分法と積分法 【知識及び技能】 ・平均変化率について、中学校で学んだ平均の速さと関連づけて求めることができる。 ・平均変化率とグラフの図形的な特徴、微分係数と接線の傾きを関連づけて考えることができる。 ・関数とその導関数との関係について考察することができる。 ・微分係数や導関数の意味について理解し、微分係数や導関数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解することができる。 ・関数の増減表を作成してグラフをかいたり、関数の極大・極小を考えることにより、その関数を多面的・多角的に捉えて見ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・微分係数や直線の方程式から、接線の方程式を具体化して求めることができる。	平均変化率 微分係数 導関数 接線 関数の増加・減少 関数の極大・極小 関数の最大・最小	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	5
				○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学期 期末	第5章 微分法と積分法 【知識及び技能】 ・不定積分を導関数との関係性から理解し、求めることができる。 ・「微分する」と「積分する」、不定積分と定積分、定積分と図形の面積を関連づけて考えることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・不定積分及び定積分の意味について理解し、不定積分や定積分の値を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・定積分を利用して、曲線や直線で囲まれた図形の面積を求めることができる。	不定積分 定積分 面積	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	8
				○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学期	第3章 三角関数 【知識及び技能】 3学年で学んだことの基礎・基本ができる。 【思考力・判断力・表現力】 3学年で学んだことを応用して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 3学年で学んだことを自ら進んで復習することができる。	3学年のまとめ	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	9
	学年末考査			○	○		1

令和6年度 年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2
対象学年・組	3年A・B・C・E組				
使用教科書	新高等保健体育				
使用教材					

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則 ・体づくり運動の行い方、体力の構成要素、 実生活への取り入れ方	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫する	・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、フェアなプレイを心掛ける ・相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする ・ひとりひとりの違いを大切に、互いに高めあうようにする

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 A 単元 【理由付けする・関連づける】 (オリエンテーション) 体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。 【具体化する・構造化する】 (身体づくり運動・体力テスト) 体力を高める運動の仕方を理解し実践できるようにする。 計測方法を理解し正確に実施することができる。 (水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。	オリエンテーション 身体づくり運動 体力テスト 水泳	【知識及び技能】① 【思考力・判断力・表現力】② 【主体的に学習に取り組む態度】③ 主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 体力テストの正しい方法を理解し測定することができるか①②③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか②③ 安全に配慮して行動することができるか①②③ 体の使い方が適切にできているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する	○	○	○	25
2 学期 【具体化する・構造化する】 (水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。 速く正確に泳げるようにする。 (ソフトボール) 用具の使い方など安全に配慮して行動する ボールの投げ方をスムーズに行うことができる バッティングがスムーズにおこなうことができる (バスケットボール) 種目特性の理解と基本的な技能が出来るようにする。 個人的技能および集団的技能	武道(柔道) 水泳 バドミントン サッカー 卓球 ソフトボール 陸上競技(長距離走)	主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか①②③ 状況に応じた攻防が出来ているか①② 対人練習の仕方が出来ているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①② ルールを理解し公正に試合が出来ているか①②③ 状況に応じたショットを打つことができるか①② 一定の時間、安定したペースで走ることができるか①②③ 相手に配慮したパスを出すことができるか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する	○	○	○	30
3 学期 【具体化する・構造化する】 (バスケットボール) 種目特性の理解と基本的な技能が出来るようにする。 個人的技能および集団的技能 【理由付けする・関連付ける】 (体育理論) 運動やスポーツの楽しさ・必要性を理解し、豊かなスポーツライフを送ることができるようにする。	陸上競技(長距離走) 体育理論	【観点】 公正な態度で試合ができるか②③ 安定したペースでより速く走ることができるか①② マラソン大会を完走できるか①②③ 運動やスポーツの意義を理解できているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストプリントチェックを行い評価する	○	○	○	15

令和6年度 年間授業計画

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションII	単位数	2
対象学年・組	3学年 A組 B組 C組 E組				
使用教科書	VISTA English Communication II (三省堂)				
使用教材	プリント、ZESTAR総合英語English Grammar in 47 Lessons (Z会)、チャンクで英単語 (三省堂)				

教科の目標

【知識及び技能】	外国語の特徴やきまりなどの理解や外国語の音声や語彙・表現、文法の知識を深める。
【思考力、判断力、表現力等】	外国語で情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きへの理解を深め、その知識・理解を4技能による言語活動において活用し、適切に運用する技術を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面・状況に応じて、英語で発信される情報や考えなどの概要や要点、話し手や聞き手の意図を的確に理解し、これらを活用して自ら適切に表現できる力を養う。	英語という言語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手を配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	語 話	発 話	書					
1 学 期	C 単元 LESSON 4 Designing Stamps 【知識及び技能】 ・玉木明さんへのインタビューについて、理解する。 ・形式主語itと形式目的語itに関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の切手について紹介する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	10
	定期考査								○	○	1	
	C 単元 LESSON 5 Mont-Saint-Michel 【知識及び技能】 ・モン・サン・ミシェルについて、理解し正しく使う。 ・現在完了進行形/過去完了形/過去完了進行形に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の世界遺産について、説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	15
定期考査									○	○	1	
2 学 期	C 単元 LESSON 6 Smart Agriculture 【知識及び技能】 ・スマート農業について、理解して考えを深めることができる。 ・現在完了形の受け身/助動詞+受け身に関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ドローンの危険性について、相手に意見や考えを求める表現を用いて、考えを伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	15
	定期考査								○	○	1	
	C 単元 LESSON 7 Martial Art on Tatami 【知識及び技能】 ・競技かるたについて、理解する。 ・関係代名詞の非制限用法/関係代名詞whatに関する事項を理解し正しく使う。 【思考力、判断力、表現力等】 正月の風物・日本のお土産について紹介する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	15
定期考査									○	○	1	
3 学 期	C 単元 LESSON 8 Biologging 【知識及び技能】 ・バイオリッジングについて、理解し正しく使う。 ・分詞構文/強調構文に関する事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学校内の出来事/ペットの記録計について、説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記のことについて取り組もうとする。	・4技能がバランスよく育成される指導を行う。 ・教科書、高校 やさしくわかりやすい英文法、Listening教材、単語帳、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	10
	定期考査								○	○	1	

令和6年度 年間授業計画

教科名	国語	科目名	教養国語	単位数	2
対象学年・組	第3学年 A・B・C・E組				
使用教科書	「熱き国語 基礎Ⅰ」尚文出版				
使用教材	「漢字ボックス」浜島書店				

教科の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことが出来るようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解する。	目的や場に応じて実社会の問題や自分にかかわる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら、情報を収集、整理して伝え合う内容を検討する。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	態	配当 時数	
			語	書	読					
1 学 期	A 単元 「失敬のすすめ」、新聞の活用 【知識及び技能】 ・接続詞の適切な使い方を理解する。 ・新聞の活用を通して語句の量を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・前後の文脈や呼応する語の働きを理解する。 ・新聞の活用を通してさまざまな表現方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の展開の仕方や表現の仕方に着目し、文章表現を味わおうとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、自分の考えを形成しようとしている。	○	○	○	4
	A 単元 「陸上競技大会出場に向けて」、履歴書の書き方、自己PR作成 【知識及び技能】 場面に合わせた文章表現、言葉遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から必要な情報を読み取り、適切に表現する。 他者に伝わる文章の展開を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に自己を見つめ、他者に伝わる表現方法を身に付けようとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・情報を適切に収集、利用し、考えを深めることができる。	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査		○	○			○	○		1
	A 単元 「朝日高校の制服」、ポップ作成 【知識及び技能】 読解やポップ作成を通して語彙を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 ・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 ・ポップ作成を通してさまざまな表現方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の人間関係など意識しながら作品を味わおうとしている。 ・積極的に創作活動を行い、読書の意義を理解しようとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉えようとしている。	○	○	○	10
	A 単元 「書き取り・読み(投文編)」、ピブリオバトル 【知識及び技能】 主な常用漢字を書き、文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に自分の考えを形にし、相手に伝えようとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分ける。	○	○	○	【知識及び技能】 読書活動の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
定期考査		○	○			○	○		1	
2 学 期	A 単元 「風が強く吹いている」、語彙の向上 【知識及び技能】 対義語、類義語、四字熟語など言葉について興味をもち、理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら読解する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通して、他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで語られていた内容についての見解をまとめ、学習したことを実生活で活用しようとしている。	○	○	○	6
	A 単元 「虹」、「夕」と「方」の間 【知識及び技能】 修辞技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 修辞技法があることによりどのような効果があるか考え、内容を理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 学習した表現方法を積極的に社会生活に生かそうとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・省略や反復など表現の技法について理解を深め使う。	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで語られていた内容についての見解をまとめ、学習したことを実生活で活用しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査		○	○			○	○		1
	A 単元 手紙の書き方、ことわざ・慣用語・対義語 【知識及び技能】 語彙を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 場面に合わせた手紙の書き方があることを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 表現方法を工夫しながら積極的に手紙を書くようにしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通じて、語感を増やし語彙を豊かにする。	○	○	○	【知識及び技能】 語彙を増やそうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 場面に応じた言葉を使い分けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 状況に応じた文章の書き方を進んで学ぼうとしている。	○	○	○	8
	A 単元 「大がいた季節」 【知識及び技能】 文章の意味を文脈から推測する。 【思考力、判断力、表現力等】 叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の展開の仕方や表現の仕方に着目し、文章表現を味わおうとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 時間の経過や地域・文化的特徴などによる文字や言語の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に沿って、叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。	○	○	○	8
定期考査		○	○			○	○		1	
3 学 期	A 単元 「子供の時間」、現代用語・略語 【知識及び技能】 文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本語の表記に興味をもち積極的に調べたり考えたりしようとしている。	・教科書、ノート、プリント等 ・言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。	○	○	○	7
	学年末考査		○	○			○	○		1

令和6年度 年間授業計画

教科名	国語	科目名	選択古典	単位数	2
対象学年・組	3学年選択				
使用教科書	なし				
使用教材	自作プリント等				

教科の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	生涯にわたって古典に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価標準	知	思	態	配当 時数
			語 文	書 読					
1 学 期	A 単元 古文に親しむ 【知識及び技能】 古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで音読して古典に世界に親しみ、古文のリズムや調子を感じ取る。	古文と現代文の違いについて確認する。 仮名遣いのきまりを理解する。		○	【知識及び技能】 古典を読むために必要なきまりや古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで音読して古典に世界に親しみ、古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	4
	B 単元 随筆「批草子」「徒然草」 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、作者の考えを的確に捉える。	・平安時代の女流文学および随筆文学について知る。 ・『徒然草』と作者について、必要な知識を得る。 ・作者は伝聞したことや自分の考えをどのようにまとめているか、考える。		○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、作者の考えを的確に捉えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	C 単元 歌物語「伊勢物語」 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。	・歌物語の特徴について知る。 ・人物像を理解する。 ・歌にこめられたそれぞれの心情を読みとる。		○	【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、各章段に描かれた内容を的確に捉えようとしている。	○	○	○	10
	D 単元 和歌を自分の言葉で書きかえる 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 進んでコミュニケーションツールとしての和歌の役割について理解し、学習課題に沿って、和歌を書き換える。	・和歌を書き換えることを通じて、解釈を深める。 ・書き換えた作品を互いに読み合い、元の和歌と比較しながら、表現の工夫について批評し合う。		○	【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んでコミュニケーションツールとしての和歌の役割について理解し、学習課題に沿って、和歌を書き換えようとしている。	○	○	○	6
定期考査					○	○		1	
2 学 期	E 単元 訓読の基本 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、訓読のきまりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つとする。	・漢文の特色を知り、漢文とは日本語と言語構造が異なるものであることを知る。 ・漢文を日本語として読む工夫が訓読であることを理解する。 ・訓読のきまりを確認する。		○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、訓読のきまりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つとしている。	○	○	○	6
	F 単元 漢文「論語」 【知識及び技能】 作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで「論語」に表れているものの見方や考え方について理解し、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとする。	・孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、孔子の思想に興味を持つ。 ・本文を繰り返し音読し、書き下し分にしている。		○	【知識及び技能】 作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで「論語」に表れているものの見方や考え方について理解し、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
	G 単元 史話—三編 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。	・話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。		○	【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わおうとしている。	○	○	○	8
3 学 期	H 単元 「言語」『三国志』の英雄ポスターを作る 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで調べて得た情報を的確に整理し、人物像が伝わるポスターを作る。	・歴史書の『三国志』と歴史小説の『三国志演義』との関係や、両者の違いなどについて理解する。 ・取り上げる人物を決めて、その人物についてのエピソードや評価などを調べる。 ・集めた情報を整理し、キャッチフレーズを考えるなどして、ポスターにまとめる。 ・ポスターを読み合い、気づいたことを伝え合う。		○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで調べて得た情報を的確に整理し、人物像が伝わるポスターを作ろうとしている。	○	○	○	8
	定期考査				○	○		1	
	I 単元 「平家物語」 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、登場人物の言動や心情を読み取る。	・軍記物語特有の表現に注目しながら、登場人物の言動や心情を読み取る。		○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、登場人物の言動や心情を読み取るようとしている。	○	○	○	7
学年末考査					○	○		1	

令和6年度 年間授業計画

教科名	地理歴史	科目名	教養世界史	単位数	2
対象学年・組	3年生 教養世界史 選択者				
使用教科書					
使用教材					

教科の目標

【知識及び技能】	現代を生きる我々に必要な、過去の知識を得る。
【思考力、判断力、表現力等】	我々は現在、なぜこのような世界に生きているのか思考し、表現することができる。
【主体的に学習に取り組む態度】	何事にも疑問を持ち、積極的に調べ学習を行う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 文明の誕生 ①自然環境の変化と農耕・牧畜の開始との関係について考察し、文明誕生の基礎について理解する。 ②おもな古代文明の立地について考察し、文明が生まれるために必要だった条件を理解する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○		○	5
	単元 古代オリエント文明とその周辺 ①オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ②都市国家に富や権力が集まった理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ③メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解する。 ④エジプト王国が長期にわたって安定した支配を続けられた理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤シリア・パレスチナ地方で多くの民族が興亡を繰り返した背景を理解する。 ⑥クレタ文明とミケーネ文明を比較し、そのあいだの性格の違いを理解する。 ⑦アッシリアがオリエントをはじめて統一することができた背景を多面的・多角的に考察し表現する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○		○	8
	授業内小テスト			○	○		1
2 学 期	単元 ギリシア人の都市国家 ①ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。 ②スパルタが軍国主義をしいた理由を多面的・多角的に考察し表現する。 ③民主政発達の経緯および現代の民主主義との相違点について理解する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 オストランなどの考古学的資料や「ペリクレスの演説」などの資料をもとに、ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ギリシアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	単元 ローマと地中海支配 ①ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ②地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 モザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	授業内小テスト			○	○		1
3 学 期	単元 キリスト教の成立と発展 ①キリスト教の成立の経緯を理解している。 ②ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元 ルネサンス ①ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。 ②ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しいさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	授業内小テスト			○	○		1
3 学 期	単元 イスラム教の諸地域への伝播 ①イスラム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。 ②南アジアにおいてイスラム教が受け入れられていった経緯を理解している。 ③東南アジアにおいてイスラム化が進んだ背景について考察し表現している。 ④アフリカにおいてイスラム化が進んだ要因を考察し表現している。	・一人一台端末使用	【知識及び技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラム化が進んだのかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				9
	授業内小テスト						1

令和6年度 年間授業計画

教科名	公民	科目名	政治・経済	単位数	2
対象学年・組	3学年 選択				
使用教科書	第一学習社 高等学校 政治・経済				
使用教材	なし				

教科の目標

【知識及び技能】	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公民的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公民的な空間に生きる国民民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 中間	<ul style="list-style-type: none"> 政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。 法の意義と機能について多面的・多角的に考察し、表現している。 法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。 国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第1節 日本国憲法と現代政治のあり方 ①政治と法の意義と機能 ②法の支配と立憲主義 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】政治や政治権力の意味とその役割について、理解している。・法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。 【思考・判断・表現】法の意義と機能について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権が確立した背景や経緯について、理解している。 個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 新しい人権が主張されるようになった背景や、新しい人権の具体的内容について、理解している。 人類は人権保障に向けてどのように努力してきたか、理解している。 権利と義務との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴について、理解している。 よりよい民主政治のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 国会の地位と構成について、理解している。 法律はどのようにして成立するのか、理解している。 国会の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 日本の内閣と国会の関係について、理解している。 内閣総理大臣と内閣の権限について、理解している。 今後の行政の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 	③基本的人権の保障と日本国憲法 ④現代社会における新しい人権 ⑤権利と義務との関係 ⑥議会制民主主義と世界の政治体制 ⑦国会の組織と立法 ⑧内閣の機構と行政 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】基本的人権が確立した背景や経緯について、理解している。・新しい人権が主張されるようになった背景や、新しい人権の具体的内容について、理解している。・人類は人権保障に向けてどのように努力してきたか、理解している。・民主政治の考え方や、議院内閣制や大統領制の特徴について、理解している。・国会の地位と構成について、理解している。・法律はどのようにして成立するのか、理解している。・日本の内閣と国会の関係について、理解している。・内閣総理大臣と内閣の権限について、理解している。 【思考・判断・表現】個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。・よりよい民主政治のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。・国会の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
1 学期 期末	<ul style="list-style-type: none"> 司法権の独立と日本の裁判制度について、理解している。 国民の司法参加のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 日本国憲法と現代政治のあり方との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 日本国憲法と現代政治のあり方について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	⑨裁判所の機能と司法制度 ■諸課題へのアプローチ 「現代政治のあり方」 第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 ①地方自治制度と住民の権利 ②政党政治と選挙 ■諸課題へのアプローチ 「主権者としての政治参加のあり方」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】司法権の独立と日本の裁判制度について、理解している。・地方自治の本旨の意味と日本の地方自治制度について、理解している。・政党の意義と役割について理解している。 【思考・判断・表現】国民の司法参加のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。・日本国憲法と現代政治のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。・日本の政党政治や選挙の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。・地方自治における住民の権利と住民運動の意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。・望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】「日本国憲法と現代政治のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> 経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。 資本主義経済の特質とその変容について、理解している。 価格がどのようにして決まるのか、具体的な市場を取り上げて多面的・多角的に考察し、表現している。 三つの経済主体の活動と、経済循環における役割について、理解している。 株式会社のしくみと株主との関係について、理解している。 企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ストックとフローの概念や、GDPなどの指標について、理解している。 経済成長率における名目と実質の違いや、経済成長の要因について、理解している。 インフレとデフレの原因と影響、景気変動のしくみについて、理解している。 物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。 さまざまな市場の失敗の事例と、その弊害について、理解している。 公害と消費者問題に対する施策について、理解している。 自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 市場の機能と限界や解決のあり方について、多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	第3節 市場経済の機能と限界 ①経済活動と市場 ②経済主体と経済循環 ③国民経済の大きさと経済成長 ④物価と景気変動 ⑤市場の失敗と公害・消費者問題 ■諸課題へのアプローチ 「外部不経済の内閣化の方法」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】経済の役割と、市場経済における人々の選択について、理解している。・資本主義経済の特質とその変容について、理解している。・三つの経済主体の活動と、経済循環における役割について、理解している。・株式会社のしくみと株主との関係について、理解している。・ストックとフローの概念や、GDPなどの指標について、理解している。・経済成長率における名目と実質の違いや、経済成長の要因について、理解している。・インフレとデフレの原因と影響、景気変動のしくみについて、理解している。・物価や景気の変動に対する政府の施策について、理解している。・さまざまな市場の失敗の事例と、その弊害について、理解している。・公害と消費者問題に対する施策について、理解している。 【思考・判断・表現】価格がどのようにして決まるのか、具体的な市場を取り上げて多面的・多角的に考察し、表現している。・企業の社会的責任のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。・自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。・市場の機能と限界や解決のあり方について、多面的・多角的に考察し、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】「市場経済の機能と限界」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期 中 間	<ul style="list-style-type: none"> ・財政の機能としきみについて、理解している。 ・租税の種類やその特徴について、理解している。 ・財政における国と地方の役割分担について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・「持続可能な財政および租税のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・金融ははたらきと金融機関の役割について、理解している。 ・日本銀行の金融政策とその影響について、理解している。 ・現在の金融をめぐる動向とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・金融を通じた経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・金融を通じた経済活動の活性化について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	第4節 持続可能な財政および租税のあり方 ①財政のしくみと租税の意義 ■諸課題へのアプローチ 「持続可能な財政を実現するための税制のあり方」 ②金融を通じた経済活動の活性化 ③金融のしくみとはたらき ■諸課題へのアプローチ 「資金の流れと起業における資金調達」のあり方 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・財政の機能としきみについて、理解している。 ・租税の種類やその特徴について、理解している。 ・金融のはたらきと金融機関の役割について、理解している。 ・日本銀行の金融政策とその影響について、理解している。 【思考・判断・表現】・財政における国と地方の役割分担について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・持続可能な財政のあり方を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・現在の金融をめぐる動向とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・金融を通じた経済活動の活性化のしくみやあり方を多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・「持続可能な財政および租税のあり方」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・「金融を通じた経済活動の活性化」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済における産業構造の変化について、理解している。 ・現在の日本経済の現状と課題について、理解している。 ・日本の中小企業や農業経営者が直面している課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・労働三法の内容について、理解している。 ・現在の日本の労働問題や、労働環境をめぐる課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の社会保障制度について、理解している。 ・日本の社会保障制度の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・経済活動と福祉の向上との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「経済活動と福祉の向上」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	第6節 経済活動と福祉の向上 ①日本経済の変化と中小企業・農業問題 ②労働関係と労働問題 ③社会保障制度と福祉のあり方 ■諸課題へのアプローチ 「格差の理由とその対策」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・日本経済における産業構造の変化について、理解している。 ・現在の日本経済の現状と課題について、理解している。 ・労働三法の内容について、理解している。 ・日本の社会保障制度について、理解している。 ・日本の社会保障制度の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・経済活動と福祉の向上との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【思考・判断・表現】・日本経済における産業構造の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現在の日本の労働問題や、労働環境をめぐる課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の社会保障制度の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「経済活動と福祉の向上」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
2 学 期 期 末	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述している。 ・「持続可能な社会の形成」について、日本社会の動向に着目したり、国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。 ・取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。 	第2章 現代日本の諸課題の探究【選択】 1 少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化 2 地域社会の自立と政府 3 多様な働き方・生き方を可能にする社会 4 産業構造の変化と格差 5 歳入・歳出両面での財政健全化 6 食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現 7 防災と安全・安心な社会の実現 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・諸課題の探究にあたって、日本社会の動向に着目したり、国内の諸地域や諸外国における取り組みなどを参考にしたりしている。 【思考・判断・表現】・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】・取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> ・21世紀以降の国際社会の動向について、理解している。 ・国際社会の多極化や国際協力について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際法と国内法の違いや、国際法の種類や特徴について、理解している。 ・さまざまな国際裁判とそのしくみについて、理解している。 ・領土問題などの国際紛争の解決のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて、理解している。 ・国際連合の機能と主要機関の役割について、理解している。 ・今日の国際情勢の変化を受けて、国際連合はどのような役割を強化すべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際紛争はどのような原因で起きるのか、理解している。 ・紛争当事者の変化や、平和的解決のための取り組みについて、理解している。 ・核兵器廃絶のために、どのような努力がなされてきたのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際法の果たす役割について、国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて、将来、国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・「国際法の果たす役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済 第1節 国際法の果たす役割 ①国際社会の変遷 ②国際法の意義 ③国際機関の役割 ④国際紛争と軍縮への取り組み ■諸課題へのアプローチ 「国際法の役割と課題」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・21世紀以降の国際社会の動向について、理解している。 ・国際法と国内法の違いや、国際法の種類や特徴について、理解している。 ・さまざまな国際裁判とそのしくみについて、理解している。 ・勢力均衡と集団安全保障の違いについて、理解している。 ・国際連合の機能と主要機関の役割について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・今日の国際情勢の変化を受けて、国際連合はどのような役割を強化すべきか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際紛争はどのような原因で起きるのか、理解している。 ・紛争当事者の変化や、平和的解決のための取り組みについて、理解している。 ・核兵器廃絶のために、どのような努力がなされてきたのか、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国際法の果たす役割について、国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて、将来、国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・「国際法の果たす役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について、理解している。 ・日米安全保障協力の強化と自衛隊の海外派遣について、理解している。 ・国際社会において日本がこれら果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・比較優位の考え方や国際分業の利点について、理解している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について、考察し、表現している。 ・国際收支統計の基本的な構成について、理解している。 ・国際收支の動向をもとに、日本の対外経済取引の現状について、考察し、表現している。 ・変動相場制における為替相場の決定のしくみについて、理解している。 ・日本の対ドル為替相場の推移と、日本経済の動向について、理解している。 ・さまざまな国際経済機関の役割や課題について、理解している。 ・地域的経済統合やF T A・E P Aの意義と課題について、考察し、表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において、利益と地獄的な規模での協力が求められる現状と問題点について、多面的・多角的に考察、表現している。 ・「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 ①日本の安全保障と国際貢献 ■諸課題へのアプローチ 「日本の国際貢献のあり方」 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質 ①貿易の現状と意義 ②国民経済と国際收支 ③為替相場の変動 ④国際協調と国際経済機関の役割 ■諸課題へのアプローチ 「国際経済の現状と課題」 指導項目・内容の理解の定着と発展のため、その内容に沿ったテーマについて調べる。	【知識・技能】・平和主義の理念と日本の防衛政策の関連について、理解している。 ・日米安全保障協力の強化と自衛隊の海外派遣について、理解している。 ・比較優位の考え方や国際分業の利点について、理解している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について、考察し、表現している。 ・国際收支の動向をもとに、日本の対外経済取引の現状について、考察し、表現している。 ・地域的経済統合やF T A・E P Aの意義と課題について、考察し、表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において、利益と地獄的な規模での協力が求められる現状と問題点について、多面的・多角的に考察、表現している。 【思考・判断・表現】・国際社会において日本がこれら果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・現在の世界と日本の貿易の現状と動向について、考察し、表現している。 ・国際收支の動向をもとに、日本の対外経済取引の現状について、考察し、表現している。 ・変動相場制における為替相場の決定のしくみについて、理解している。 ・日本の対ドル為替相場の推移と、日本経済の動向について、理解している。 ・さまざまな国際経済機関の役割や課題について、理解している。 ・地域的経済統合やF T A・E P Aの意義と課題について、考察し、表現している。 ・国民経済と国際経済の関係において、利益と地獄的な規模での協力が求められる現状と問題点について、多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】・「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	<ul style="list-style-type: none"> ・学年末考査 						

令和6年度 年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学A	単位数	2
対象学年・組	第3学年 A組・C組・E組				
使用教科書	新編数学A（数研出版）				
使用教材	3TRIAL数学A など				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象の数学化、数学的な解釈、数学的な表現・処理の技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決する力、解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を身に付ける。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学を活用しようとする態度、問題解決の過程について考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付ける。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	A 準備 集合 【知識及び技能】 ・集合に関する基本的な概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現し考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	○指導項目 ・集合と要素 ・集合の表し方 ・部分集合 ・共通部分と和集合 ・補集合 ○使用教材 ・教科書傍用問題集 ○一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・和集合や補集合について理解し、ベン図などを利用して要素の個数を求めることができる。 ・具体的な日常の事象に対して、集合の考えを用い、個数、人数などを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・ベン図などを利用して集合を図示し、集合の要素の個数を求める方法を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な日常の事象に対して、集合の考えを用いようとする。 ・表を作って集合の要素の個数を求める方法に興味関心を示し、それを利用しようとする。	○	○	○	3
	B 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 【知識及び技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	○指導項目 ・集合の要素の個数 ・倍数の個数 ・集合の応用 ・樹形図 ・和の法則、積の法則 ○補充問題 ○使用教材 ・教科書傍用問題集 ○一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・樹形図を用いて、場合の数を求め、かつ重複なく数えることができる。 ・和の法則、積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 ・場合の数を数える適切な方針を考察する。 ・自然数の正の約数の個数を数える方法について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・樹形図、和の法則や対称性などによる場合の数の数え方に興味関心をもつ。 ・自然数の正の約数の個数を数えること、式の展開を利用して約数が列挙できることに興味関心をもつ。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
1 学 期 末	C 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 【知識及び技能】 ・具体的な事象をもとに順列及び組合せの意味を理解し、順列や組合せの総数を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	○指導項目 ・順列の総数 ・円順列 ・重複順列 ・重複を許して作る組み合わせ ○補充問題 ○使用教材 ・教科書傍用問題集 ○一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・順列、円順列、重複順列の公式を理解し、利用することができる。 ・複数の条件を含む順列、円順列を、見方を変えたり別のものに対応させたりして処理する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・既習事項をもとにして、円順列や重複順列などを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順列、円順列、重複順列の違いに興味関心をもつ。 ・具体的な事象について、順列の考えを適切に用いて問題を解決しようとしている。	○	○	○	5
	D 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 【知識及び技能】 ・具体的な事象をもとに順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	○指導項目 ・組分けの総数 ・同じものを含むものの順列 ・重複を許して作る組み合わせ ○補充問題 ○章末問題 ○使用教材 ・教科書傍用問題集 ○一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・組合せの公式を理解し、利用することができる。 ・組分けや同じものを含む順列の総数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の条件を含む組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理する。 ・既習事項をもとにして組み合わせの総数を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・組合せの考え方を利用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などを求められることに興味関心をもつ。 ・具体的な事象について、組合せの考えを適切に用いて問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期 中 間	E 第1章 場合の数と確率 第2節 確率 【知識及び技能】 ・確率の意味と基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	○指導項目 ・確率の意味 ・試行と事象 ・同様に確からしいときの確率 ・いろいろな事象の確率 ・積事象と和事象 ・排反事象 ・確率の基本的性質 ・余事象とその確率 ・一般の和事象の確率 ○補充問題 ○使用教材 ・教科書傍用問題集 ○一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・確率の定義、確率の求め方を理解する。 ・確率の基本的性質、和事象、余事象の確率の求め方を理解する。 ・集合を活用して複雑な事象の確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不確定な事象を、同様に確からしいという概念をもとに、数量的に捉える。 ・集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・1個のさいころを繰り返し投げた実験などを通して、統計的 確率と数学的確率の違いに興味関心をもつ。 ・確率の加法定理を利用して、複雑な事象の確率を意欲的に求 めようとする。	○	○	○	8
	F 第1章 場合の数と確率 第2節 確率 【知識及び技能】 ・独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求め る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判 断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘 り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態 度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評 価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養 う。	○指導項目 ・独立な試行の確率 ・反復試行の確率 ・補充問題 ○使用教材 ・教科書傍用問題集 ○一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・独立な試行や反復試行の確率を、公式を用いて求めること ができる。 ・複雑な独立試行や反復試行の確率を、公式や加法定理など を用いて求めることができる。 ・条件付き確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率について考 察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的事象について、独立試行や反復試行の確率を、興 味関心をもって調べようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期 期 末	G 第1章 場合の数と確率 第2節 確率 【知識及び技能】 ・条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について 条件付き確率を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判 断したり、期待値を意思決定に活用したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘 り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態 度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評 価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養 う。	○指導項目 ・条件付き確率 ・確率の乗法定理 ・期待値 ・期待値の利用 ・補充問題 ・章末問題 ○使用教材 ・教科書傍用問題集 ○一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・条件付き確率を求めることができる。 ・確率の乗法定理を用いて確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・既習の確率と条件付き確率の違いについて、図や表など を用いて考察する。 ・結果が不確実な状況下において、どの選択が有利かを判 断する基準として、期待値の考えを用いて考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味関心をも ち、積極的に活用しようとする。 ・日常の事象における不確実な事柄について判断する際 に、期待値を用いて比較し、考察しようとする。				5
	H 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 【知識及び技能】 ・三角形の基本的な性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質 に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質に ついて論理的に考察したり説明したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘 り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態 度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評 価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養 う。	○指導項目 ・三角形の辺の比 ・三角形の外心、内心、重心 ・チェバの定理、メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ○補充問題 ○使用教材 ・教科書傍用問題集 ○一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・定理を適切に利用して、線分の比や長さを求めること ができる。 ・三角形の外心、内心、重心の定義と性質を理解する。 ・チェバの定理、メネラウスの定理について理解し、それ らを用いて線分比を求めることができる。 ・円に内接する四角形の性質を利用して、角度を求めるこ とができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・既習事項を用いて図形の性質を論理的に考察する。 ・適切な補助線を引いて考察する。 ・チェバの定理、メネラウスの定理を論理的に考察する。 ・四角形が円に内接するための必要十分条件について論 理的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・線分を内分・外分する点や、三角形の角の二等分線と 比について調べようとしている。 ・三角形の外心、内心、重心、チェバの定理、メネラ ウスの定理に関する性質に興味関心を示し、積極的に考 察しようとする。 ・四角形が円に内接するための条件を考察しようとする。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	I 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 【知識及び技能】 ・円の基本的な性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりする。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統一的・発展的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・円の接線と弦の作る角 ・方べきの定理 ・方べきの定理の逆 ・2つの円の位置関係 ・2つの円の共通接線 ・作図 ・補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・円の基本的な性質を理解する。 ・円に内接する四角形の性質を利用して、角度を求めることができる。 ・円の接線の性質や方べきの定理を利用して、線分の長さなどを求めることができる。 ・共通接線の定義を理解し、その長さの求め方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・方べきの定理について、対象とする図形に応じて見方を変えて考察する。 ・2つの円を動的にとらえ、それらの位置関係を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2つの円の中心間の距離と半径に着目して、2つの円の位置関係について考察しようとする。	○	○	○	10
	J 第2章 図形の性質 第2節 空間図形 【知識及び技能】 ・空間図形に関する基本的な性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりする。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統一的・発展的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	○指導項目 ・2直線の位置関係 ・直線と平面の位置関係 ・2平面の位置関係 ・多面体 ・オイラーの多面体定理 ・正多面体から切り取った立体 ・正多面体の体積 ・正多面体の種類 ・補充問題 ・章末問題 ○使用教材 ・教科書傍用問題集 ○一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・空間における2直線の位置関係やなす角を理解する。 ・正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の個数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・空間において直線と平面が垂直になるための条件を、与えられた立体図形に適用して考察する。 ・空間における直線と平面が平行または垂直になるかどうかを、与えられた条件から考察する。 ・正多面体の満たす条件を考察する。 ・正多面体から切り取られた立体について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な立体図形をもとに、空間における図形の位置関係について、積極的に考えてみようとする。 ・オイラーの多面体定理がどんな凸多面体でも成り立つかどうか調べようとしている。				9
	学年末考査						1

令和6年度 年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	柔道	単位数	2
対象学年・組	2年A・B・C・E組				
使用教科書	新高等保健体育：大修館書店				
使用教材	プリント				

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすること。	攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。	武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	<p>体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。</p> <p>運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。</p> <p>自他を尊重する態度を身に付ける。</p> <p>伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。</p> <p>相手を尊重する態度を身に付ける。</p> <p>体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。</p>	<p>後受身、前受身、横け身、前回受身の習得。</p> <p>柔道のルールを理解する。</p> <p>袈裟固・横四方固の習得。</p> <p>袈裟固・横四方固・上四方固、縦四方固、肩固の習得。</p> <p>うつ伏せ・四つん這いの相手への攻撃パターンの習得。</p> <p>自分が仰向けの姿勢からの攻撃パターンの習得。</p> <p>背中合わせからの寝技乱取りができるようにする。</p>	<p>主体的に取り組んでいるか</p> <p>正しい態度で話を聞いているか</p> <p>授業のルールを理解し守ることでできているか</p> <p>体カテストの正しい方法を理解し測定することができるか</p> <p>相手を尊重する態度で取り組んでいるか</p> <p>受身が正しく出来ているか</p> <p>抑技が正しく出来ているか</p> <p>自分が仰向けの姿勢からの攻撃パターンの習得。</p> <p>礼法が正しくできているか</p> <p>対人練習の仕方と体の操作が出来ているか</p>	○	○	○	20
2 学 期	<p>伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。</p> <p>相手を尊重する態度を身に付ける。</p> <p>体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。</p>	<p>後受身、前受身、横け身、前回受身の習得。</p> <p>袈裟固・横四方固・上四方固、縦四方固、肩固の習得。</p> <p>うつ伏せ・四つん這いの相手への攻撃パターンの習得。</p> <p>自分が仰向けの姿勢からの攻撃パターンの習得。</p> <p>背中合わせからの寝技乱取りができるようにする。</p> <p>背負い投げ、大腰は、取と受の意味を理解し、技をかけられるようにする。</p> <p>二人一組の対人で、崩し、体さばき、受け身を用いて投げ技を扱うようにする。</p>	<p>主体的に取り組んでいるか</p> <p>正しい態度で話を聞いているか</p> <p>柔道のルールを理解し守ることでできているか</p> <p>相手を尊重する態度で取り組んでいるか</p> <p>受身が正しく出来ているか</p> <p>抑技が正しく出来ているか</p> <p>礼法が正しくできているか</p> <p>対人練習の仕方と体の操作が出来ているか</p> <p>ルールを理解し公正に試合が出来ているか</p>	○	○	○	35
3 学 期	<p>体育の授業を受けるうえでの守るべきルールを理解し行動できるようにする。</p> <p>運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。</p> <p>自他を尊重する態度を身に付ける。</p> <p>伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。</p> <p>相手を尊重する態度を身に付ける。</p> <p>体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。</p>	<p>柔道のルールを理解し公正に立ち技の試合をすることができる。</p>	<p>公正な態度で試合ができるか</p> <p>相手を敬い、試合をすることができたか</p> <p>柔道の試合のルールを理解できたか</p> <p>運動やスポーツの意義を理解できているか</p>	○	○	○	15

令和6年度 年間授業計画

教科名	外国語	科目名	総合英語	単位数	4
対象学年・組	3学年 選択者				
使用教科書	なし				
使用教材	AXEL英語総合問題演習（桐原書店）英単語ターゲット1400（旺文社）				

教科の目標

【知識及び技能】	外国語の文法的知識を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	学習した語彙・文法を使用して情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	英語学習を通じて、他言語やその背景にある文化を理解し、尊重しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の文法的知識を身に付ける。	学習した語彙・文法を使用して情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。	英語学習を通じて、他言語やその背景にある文化を理解し、尊重しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
1 学 期	長文読解演習 文構造を理解し、情報や考えなどの概要や要点を理解する。	以下の題材をもとに、長文読解問題について英語での語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して自分で読むことができるようにする 【分類する・関連付ける】 ・文の構造を学ぶ。 ・基本単語を覚える。	○	○	○	○	○	観点 ・基本英単語覚える努力ができる。 ・文法事項を学習する取り組みができる。 ・まとまりのある文章を読んで、その内容を捉える技能を身につけている。 方法 ・英語による指示や質問に的確に回答しているか、積極的な態度や発言により評価する。 ・内容理解問題についての取り組み ・毎回の単語テスト	○	○	○	23
	定期考査								○	○		1
	長文読解演習 文構造を理解し、情報や考えなどの概要や要点を理解する。	以下の題材をもとに、長文読解問題について英語での語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して自分で読むことができるようにする。 【分類する・関連付ける】 ・文の構造を学ぶ。 ・基本単語を覚える。 情報や考え、気持ちなどを語句や文を用いて伝えることができるようにする。 【構造化する・理由付けする】 ・自分の考えを理由とともに関連づけて、説明することができる。	○	○	○	○	○	観点 ・基本英単語覚える努力ができる。 ・文法事項を学習する取り組みができる。 ・まとまりのある文章を読んで、その内容を捉える技能を身につけている。 方法 ・英語による指示や質問に的確に回答しているか、積極的な態度や発言により評価する。 ・内容理解問題についての取り組み ・毎回の単語テスト ・英作文 ・筆記テスト	○	○	○	27
定期考査									○	○		1
2 学 期	長文読解演習 文構造を理解し、情報や考えなどの概要や要点を理解する。	以下の題材をもとに、長文読解問題について英語での語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して自分で読むことができるようにする。 【分類する・関連付ける】 ・文の構造を学ぶ。 ・基本単語を覚える。	○	○	○	○	○	観点 ・基本英単語覚える努力ができる。 ・文法事項を学習する取り組みができる。 ・まとまりのある文章を読んで、その内容を捉える技能を身につけている。 方法 ・内容理解問題についての取り組み ・毎回の単語テスト ・英語による指示や質問に的確に回答しているか、積極的な態度や発言により評価する。	○	○	○	35
	定期考査								○	○		1
	長文読解演習 文構造を理解し、情報や考えなどの概要や要点を理解する。	以下の題材をもとに、長文読解問題について英語での語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して自分で読むことができるようにする。 【分類する・関連付ける】 ・文の構造を学ぶ。 ・基本単語を覚える。 情報や考え、気持ちなどを語句や文を用いて伝えることができるようにする。 【構造化する・理由付けする】 ・自分の考えを理由とともに関連づけて、説明することができる。	○	○	○	○	○	観点 ・基本英単語覚える努力ができる。 ・文法事項を学習する取り組みができる。 ・まとまりのある文章を読んで、その内容を捉える技能を身につけている。 方法 ・英語による指示や質問に的確に回答しているか、積極的な態度や発言により評価する。 ・内容理解問題についての取り組み ・毎回の単語テスト ・筆記テスト	○	○	○	35
定期考査									○	○		1
3 学 期	長文読解演習 文構造を理解し、情報や考えなどの概要や要点を理解する。	以下の題材をもとに、長文読解問題について英語での語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して自分で読むことができるようにする。 【分類する・関連付ける】 ・文の構造を学ぶ。 ・基本単語を覚える。	○	○	○	○	○	観点 ・基本英単語覚える努力ができる。 ・文法事項を学習する取り組みができる。 ・まとまりのある文章を読んで、その内容を捉える技能を身につけている。 方法 ・英語による指示や質問に的確に回答しているか、積極的な態度や発言により評価する。 ・内容理解問題についての取り組み ・毎回の単語テスト ・筆記テスト	○	○	○	15
	学年末考査								○	○		1

令和6年度 年間授業計画

教科名	家庭	科目名	ファッション造形基礎	単位数	2
対象学年・組	3学年 選択				
使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)				
使用教材	2023 生活学Navi 資料+成分表 (実教出版)				

教科の目標

【知識及び技能】	生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 衣服の構成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体構造と被服の関係性、被服の構成による特徴の違いなどを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服の構成方法による相違や動作とゆるみの関係性について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服の構成について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。 	<p>・指導事項 衣服の構成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人体と衣服 2 立体構成衣服と平面構成衣服 <p>・教材 教科書、資料集、ワークシート、資料見本</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体構造と被服の関係性、被服の構成による特徴の違いなどを理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服の構成方法による相違や動作とゆるみの関係性について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服の構成について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	○	○	○	4
<p>1 学期</p> <p>B 単元 洋服の製作 (シャツの製作)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャツ製作の基礎について理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャツ製作に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャツ製作の基礎について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。 	<p>・指導事項 洋服の製作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 製作の基礎 2 シャツの製作 3 着装 <p>・教材 教科書、資料集、ワークシート、資料見本 実習材料</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャツ製作の基礎について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャツ製作に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャツ製作の基礎について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	○	○	○	26
<p>C 単元 衣服の素材</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服材料の種類と特徴について、実験・実習を通して科学的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作する被服の用途に適した被服材料の性能について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服材料について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。 	<p>・指導事項 衣服の素材</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 衣服素材の種類 2 衣服素材の性能と選択 <p>・教材 教科書、資料集、ワークシート、資料見本</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服材料の種類と特徴について、実験・実習を通して科学的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作する被服の用途に適した被服材料の性能について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服材料について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	○	○	○	8
<p>2 学期</p> <p>B 単元 洋服の製作 (パンツの製作)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンツ製作の基礎について理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンツ製作に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンツ製作の基礎について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。 	<p>・指導事項 洋服の製作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 製作の基礎 2 パンツの製作 3 着装 <p>・教材 教科書、資料集、ワークシート、資料見本 実習材料</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンツ製作の基礎について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンツ製作に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャツ製作の基礎について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	○	○	○	22
<p>3 学期</p> <p>B 単元 洋服の製作 (布の活用製作)</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残り布の活用の基礎について理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不用品や残り布に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残り布の活用の基礎について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。 	<p>・指導事項 洋服の製作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 残り布の活用の基礎 2 残り布を活用した被服の製作 <p>・教材 教科書、資料集、ワークシート、資料見本 実習材料</p> <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残り布の活用の基礎について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残り布の活用に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残り布の活用の基礎について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	○	○	○	10

令和6年度 年間授業計画

教科名	家庭	科目名	フードデザイン	単位数	2
対象学年・組	3学年 選択者				
使用教科書	フードデザイン Food Changes LIFE (教育図書)				
使用教材	2023 生活学Navi 資料+成分表 (実教出版)				

教科の目標

【知識及び技能】	生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	A 単元 健康と食生活 【知識及び技能】 ・食事の意義と役割について理解するとともに、食習慣、栄養状態、食料事情、食の安全と環境との関わりなどの視点で、我が国の食生活の現状と課題を把握し、関連する情報を収集・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・健康な食生活の在り方に関する課題を発見し、その解決に向けて望ましい食習慣の形成や環境に配慮した食生活について考察し、工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・健康と食生活について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 健康と食生活 1 食事の意義と役割 2 食を取り巻く現状 ・教材 教科書、資料集、ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・食事の意義と役割について理解している。食習慣、栄養状態、食料事情、食の安全と環境との関わりなどの視点で、我が国の食生活の現状と課題を把握し、関連する情報を収集・整理している。 【思考力、判断力、表現力】 ・健康な食生活の在り方に関する課題を発見し、その解決に向けて望ましい食習慣の形成や環境に配慮した食生活について考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・健康と食生活について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	B 単元 献立と調理 【知識及び技能】 ・食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について、基本的な考え方や方法を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食事計画についての課題を発見し、その解決に向けて考察し、表現することを工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・フードデザイン実習について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 献立と調理 ・基本の和風料理 炊飯、出汁の取り方、基本の切り方等 ・基本の洋風料理 環境に配慮した調理肉の扱い ・季節のデザート ・教材 教科書、資料集、ワークシート 調理実習、用具 ・一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について、基本的な考え方や方法を理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食事計画についての課題を発見し、その解決に向けて考察しているとともに、表現することを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・フードデザイン実習について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元 栄養素と食品 【知識及び技能】 ・食生活を総合的に計画・実践できるようにするために、栄養、食品などのフードデザインの構成要素について理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・フードデザインの構成要素について課題を発見し、その解決に向けてより豊かな食生活について考察し、工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・フードデザインの構成要素について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 栄養素と食品 1 栄養素と消化・吸収 2 各栄養素のはたらき 炭水化物、脂質、たんぱく質 ビタミン、無機質 3 食品とその特徴 4 何をどれだけ食べる 日本人の食品摂取基準 ・教材 教科書、資料集、ワークシート ・一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・食生活を総合的に計画・実践できるようにするために、栄養、食品などのフードデザインの構成要素について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】 ・フードデザインの構成要素について課題を発見し、その解決に向けてより豊かな食生活について考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・フードデザインの構成要素について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	B 単元 献立と調理 【知識及び技能】 ・食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について、基本的な考え方や方法を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食事計画についての課題を発見し、その解決に向けて考察し、表現することを工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・フードデザイン実習について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 献立と調理 和風料理 魚の扱い、青菜の調理 洋風料理 小麦粉の調理 中国料理 行事食 クリスマス料理 正月料理 ・教材 教科書、資料集、ワークシート 調理実習、用具 ・一人1 台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・食事のテーマに応じた献立作成、食材の選択と調理、テーブルコーディネートと各料理のサービス方法について、基本的な考え方や方法を理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食事計画についての課題を発見し、その解決に向けて考察しているとともに、表現することを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・フードデザイン実習について自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	D 単元 食品の選択と取り扱い 【知識及び技能】 ・食品の選択と取り扱いについて、基本的な考え方や方法を理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品の選択と取り扱いについての課題を発見し、その解決に向けて考察し、表現することを工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品の選択と取り扱いについて自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 食品の選択と取り扱い 1 食品選択のコツ 2 食品の衛生と安全 3 食の安全を考えた学び ・指導事項 献立と調理 和風料理、洋風料理 自由献立 ・教材 教科書、資料集、ワークシート 調理実習、用具 ・一人1 台端末の活用 等	D 単元 食品の選択と取り扱い 【知識及び技能】 ・食品の選択と取り扱いについて、基本的な考え方や方法を理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・食品の選択と取り扱いについての課題を発見し、その解決に向けて考察しているとともに、表現することを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食品の選択と取り扱いについて自ら学び、食生活を総合的にデザインするために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 B 単元 1. 2学期B「献立と調理」に同じ	○	○	○	9
	定期考査						1